



創大立會に於ける中山會長の挨拶

電氣通信協會設立趣意

近年我國の工業は目覺しき發達を遂げ、就中輕工業に於ては世界の王座に迫りつゝありますが、重工業又は頭腦的精密工業の如き技術的要素を多分に必要とするものに於ては英、米、獨等諸先進國との距離未だ遠く、且つ世界の市場はこれ等列強の政治的經濟的支配乃至影響の下にあつて、我國工業の進出を絶對に拒否せんとする國際情勢にあります。

然るに頭腦的精密工業の一分野として我國に於て最近飛躍的發達を遂げたる新興電氣通信工業は、諸外國に比肩し得る程度に進歩し他の重工業に比し海外進出を企圖し得る自信をも有するに至りましたので、此際亞細亞市場を確保すると共に廣く新市場をも開拓し、我國工業の海外進出を誘導せんとするものであります。

之が具體的方法としては先づ世界貿易ブロック化への潮流に對應する諸方策、或は貿易發展の實態を詳にし又國産通信機器材料及技術の海外進出上重要な計畫を樹立すること等が尤も緊要であります。

又一面に於ては電氣通信に對する智識の普及、發明考案の獎勵を圖り、延いて特許に關する各種の相談乃至指導に力を竭し、更に進んでは通信機器工業に關する諸般の政策の方向を指標し確立を促すと共に之が實現を期し、關係官民一致、我國電氣通信に關する事業の全面的進展の實を擧げ、以て斯界の期待に副ひ、惹いては國家の興隆に寄與せんとするものであります。